

こどものためのアートプロジェクト 事業紹介・体験会

長崎県が実施している“こどものためのアートプロジェクト”
「未来のアーティスト教室」を広く知っていただくために、
事業説明・ワークショップ体験会を実施します。

① 島原地区会場

日時 2026年2月9日(月)
13:30～16:10 ※終了時間は予定

会場 島原市有明総合文化会館グリーンウェーブ
(島原市有明町大三東戊 1382)

② 県北地区会場

日時 2026年2月10日(火)
13:30～16:10 ※終了時間は予定

会場 平戸文化センター
(平戸市岩の上町 1529)

①と②は同じ内容を予定しています。

対象 市町行政職員、公共ホール職員
(文化団体や地域での文化芸術活動の普及・こども場所を充実させることに興味がある方なども可)

参加 無料

申込方法 ①か②のどちらかの会場をお選びいただき、Google フォームまたはメールにてお申し込み
ください。 ※定員に達し次第、終了。

① 島原地区会場 

② 県北地区会場 

メールの場合…

- ・メールアドレス: main@n-bundankyo.jp
- ・宛名: 「長崎県文化団体協議会 ながさき未来のアーティスト教室係」
- ・記載事項: 希望会場 / 参加する方全員の氏名(よみがな)と所属 / 電話番号 ※当日連絡がつくもの

申込締切 2026年1月23日(金)

プログラム(予定)

- ・事業説明(長崎県)
- ・美術WS(いちのせかぶと)
- ・演劇WS(福田修志)
- ・ディスカッション

[地域のこどもたちのために、アートは何かできるか]
(いちのせかぶと・福田修志・長崎県・長崎県文化団体協議会)



いちのせかぶと
(油絵画家)

「崩すには基礎が必要」と言いますが、基礎を学ぶ
と最終的に必要なのは個性だと気付かされ、のびの
びとした子どもの絵が羨ましくなります。絵を描く
ことで自分の無意識を知り、少し肯定できたら素敵
だと思います!



福田修志
(劇作家・演出家)

コミュニケーション能力を育むために行っている
子どものためのアウトリーチプログラムを解説を
交えながら体感してもらう“演劇をやらない演劇
ワークショップ”です!

地域のこどもたちのために、アートは何かできるか

ながさき未来のアーティスト教室とは？

長崎県では、新しい長崎県づくりのビジョンに、「こどもが快適に過ごせ、こどもの安心を守るこども場所の充実」を掲げています。

こどもたちが県内のどこに住んでいても、文化芸術やアーティストとの出会いを通じて、想像（創造）力を育み、**こころゆたかに安心した生活**を送ることを目指して、2024年度から「ながさき未来のアーティスト教室」プロジェクトを始動しました。

多くの島や半島からなる長崎県は、それぞれ独自の魅力があるとともに、こどもたちの環境における課題も様々です。このプロジェクトでは、長崎県と市町の行政、また地域の大人たちがゆるやかに連携をして、地域の課題に応じたプログラムを実施していくことを目指しています。

ながさき未来のアーティスト教室 対象地域

（離島振興法、半島振興法、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の対象）

長崎市（旧香焼町、旧伊王島町、旧高島町、旧野母崎町、旧三和町、旧外海町、旧琴海町）、

佐世保市（黒島・高島、旧宇久町、浅子町、旧吉井町、旧世知原町、旧小佐々町、旧江迎町、旧鹿町町）、

島原市、諫早市（旧森山町、旧小長井町）、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、小値賀町、佐々町、新上五島町



いちのせかぶと
（油絵画家）

◎美術ワークショップ（体験会）講師プロフィール

長崎市出身。長崎西高等学校で油絵に出会い、武蔵野美術大学造形学部油絵専攻に進学し教職課程を卒業。

在学中から勤務していた都内の絵画教室で子どもたち100人を担任として受け持つ。福岡県への移住を機に大学の同期で手芸作家の妻と共に夫婦作家iloとして開業。現在は毎年個展を開催し油絵画家として活動中。

ながさき未来のアーティスト教室では、絵画教室での経験と現役油絵画家としての視点から「楽しい制作過程」に焦点を当て、幼稚園児には色水遊びを、小学生には学校ではなかなか扱わない専門的な画材を使った画家体験を企画しています。制作過程にある興味・発見・工夫にこそ美術の素晴らしさが詰まっており、画材から自発的な興味を、発見を工夫に変える声かけを心がけています。

また、経験の痕跡であり結晶である作品は、その子の今がパッケージされた愛おしい記録なので、優劣などは付けず自身自身で作品を褒めることができる環境を目指しています。



福田修志
（劇作家・演出家）

◎演劇ワークショップ（体験会）講師プロフィール

1975年長崎市生まれ。劇作家・演出家。長崎大学教育学部卒。1997年にF's Company（フーズ・カンパニー）を旗揚げし、代表と作・演出を務める。心の機微を丁寧に描く作風が特徴で、長崎弁で描かれる作品には独特の温かさを感じられる。劇団外の活動としては、長崎市での市民参加型舞台の経験を活かし、子供から大人までが一緒になって創作を楽しめる空間作りを大切に、地域にある歴史や風習を背景とした作品創作を各地で行っている。また近年では演劇を活用した様々な企画やワークショップを行い、社会の接着剤のような活動も多くなっている。その他、「演劇を長崎の娯楽の一つに」という目標を実現すべく、2018年には長崎市内にアトリエ PentA という小さな劇場を構え、ディレクターとしても活動を続けている。代表作『マチクイの詩』『けしてきえないひ』『ノイジー』。日本劇作家協会九州支部 支部長（2024～）。（一財）地域創造リージョナルシアター事業派遣アーティスト（2016～）。

<お問い合わせ先>

長崎県文化団体協議会

TEL/ 095-822-6049 FAX/ 095-800-6274 Email/ main@n-bundankyo.jp

〒850-8580 長崎市尾上町 3-1 長崎県文化振興・世界遺産課内